

「環境」をテーマとした 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成24年10月24日(水)19:00～20:00

場所：かごしま環境未来館

平成24年12月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00~20:00
場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	NPO法人 森と木の研究所 男性	① 鹿児島市は市域の約55%が森林で、合併した旧5町には多くの市有林がある。 これらを生かし、森林や林業への理解を深めるため、特に子どもたちを対象にした森林学習の場、市民の憩いの場、保健休養の場ともなるような「市民の森」を整備してほしい。 既に自然遊歩道が設置されているのは知っているが、駐車場やキャンプ場、トイレなどを備えたものをお願いしたい。	① ご提案として承っておきたいと思います。 現状では、まだそのようなことは考えていませんが、お話がありましたように、森林の保全や森林が果たしている色々な役割を学ぶことは大事だと思いますので、それらを含めて対応していければと思っています。 11月15日に、喜入地域に観光農業公園が開園します。ここは昔、喜入の森という施設でしたが、環境に配慮した資源循環型の施設として整備しました。ここも、市有林を残して環境の学習をする場を設置しているほか、遊歩道を整備して、周辺を散策するコースも作っていますので、「市民の森」のような施設ではないかと考えています。 しかし、特化して「森を大切にする」という知識を広げていくことは大切ですので、この環境未来館を中心に学習し、また、施設を整備することも市民の皆様方の環境の学習・保全に役立つと思いますので、そういう施設ができるかということも検討していければと思います。 また、本市では「市民と協働の森林(もり)づくり事業」に取り組んでいます。そういう体験を通じて森林への理解を深めていければと思いますので、今後とも色々な面でご協力をお願いいたします。	環境局 経済局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00～20:00

場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	NPO法人 メダカ为学校 かごしま 男性	<p>② メダカをシンボルに、人が健やかに暮らせるような自然環境の大切さを、もっと市街地の住民、特に子どもたちを知ってほしいと考え、色々な取組を進めている。郡山岳町の休耕田を借りてメダカ池やトンボ池を整備したが、まだまだ休耕田があるので、これを借り上げて活用していきたい。</p> <p>今年の8月には、環境未来館や岳の池等を会場に、全国メダカシンポジウム鹿児島大会があり、全国から多くの方がお見えになった。岳町の地元の方には、歓迎の横断幕やお土産を出していただくなどのご協力をいただき、参加者に大変感謝された。</p> <p>郡山は森林が豊かだが、昨今の野獣被害や孟宗竹の侵入もあり、地元の方々とは協力してこのことにも着手している。</p> <p>例えば、林道を設置する、あるいは、竹林の中に300万年前の火山活動で生まれた“イモ石”と呼ばれる巨大な溶岩を含む巨石、巨岩が多くあり、地元の方々は何とか地域おこしの目玉として生かせないかと考えている。</p> <p>桜島・霧島のジオパークもいいが、足元に、小中学生の理科教材となるような宝庫があるので、是非、市長にも一度ご覧いただきたい。</p>	<p>② お話いただいた、素晴らしい地域特性があったということについて、私自身、積極的な対応ができていなかったことを少し反省しています。</p> <p>鹿児島市は環境リーディングシティとして、環境に対応した色々な施策を立ち上げています。先般、北九州市長が来られて、「北九州市は八幡製鉄所等があって環境汚染された都市だったが、それを改善するため、ホテルを蘇らせようと行政・市民が取り組んだことで、今は全国に誇れる環境モデル都市になった。」と話をされていました。</p> <p>また、市電の軌道緑化を見られて、「鹿児島市の環境を重視したまちづくりが参考になった。」と言っておられましたが、ホテルの育成というお話を聞いて、メダカを育成し、その他の自然界に生息する生き物が環境保全の役割を担っているということを感じました。そういった意味では、メダカに派生する色々な事業等を含めて環境をもっともっと改善すべきだと感じました。</p> <p>現地も見させていただきますが、郡山には棚田等もたくさんありますし、林道の整備や、郡山地域まちづくりワークショップの皆さんが、地域資源をまとめた冊子を作成されていますので、地域特性を生かしたまちづくりを進めていかなければならないと思います。</p> <p>今のお話を聞いていますと、皆さんが取り組まれている事業そのものが本市のまちづくりに繋がっていくのではないかと感じました。全国に誇れる魅力ある地域として、それだけ多くの方々に来ていただくことは大変有難いことですし、地域の方々がおもてなしをすることも鹿児島市のひとつの大きな魅力だと感じましたので、これからもご意見をいただきながら、行政としてどういった取組ができるか検討させてみたいと思います。</p>	環境局 経済局	<p>(環境局) 自然とのふれあいを進めるうえで、ご紹介いただいた現地の視察を行います。</p> <p>(経済局) 林道は、間伐等の造林・保育や木材の搬出等の森林管理を効率的・安定的に行うため整備するもので、森林所有者等からの要望を受け実施しております。</p> <p>新たに開設するには、10ha以上の森林が利用区域として見込まれることや林道予定地の所有者の同意を得て国・県に採択されることが条件となります。</p> <p>このことから、ご提言の趣旨での林道整備は困難であります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00~20:00

場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	株式会社 オートパーツ 伊地知 男性	③ 私は環境未来館の協働運営委員に選ばれており、また、当社が環境未来館の「地域まるごと共育講座」を9月8日に実施し、子どもたちを含む30名の方に参加していただいたことは、企業として市民と接する良い機会になった。 このような、市民、事業者等と行政が一体となった取組ができたのは素晴らしいことだと思うので、是非継続して行ってほしい。	③ 色々な観点で環境対策に取り組んでおられることに、感謝申し上げます。 この環境未来館は、環境の学習・保全や情報発信基地としてご利用いただければと思いますし、今は行政がしっかりした取組として、皆様方の対応をさせていただいていますが、将来的には市民の皆さんが共通理念のもとで、この館をより一層気軽に、有効に使っていただければと思っています。 どしどし、色々な観点からご意見・ご提言をいただければと思います。	環境局	環境未来館は、環境学習の拠点施設として市民や市民環境団体、事業者と協働した運営を進めていきます。
4	株式会社 桂造園 男性	④ 今、生物多様性というキーワードが色々なところでとり上げられている。今まで、緑の空間や市街地の公園は、機能性や景観という意味で重要視されているが、その空間の中に、生物多様性を踏まえた新しい公園のあり方が必要ではないか。 植物や人間だけでなく、小さな生き物が街の中に住めるような空間を、公園の機能として取り入れてもらえたらと思うが、生物多様性についての今後の市長の取組を教えてください。	④ 市街地の緑地というのは、都市の景観や、私たちに潤いと安らぎを与えてくれる空間形成だと思っています。生き物にとっても重要な生息・生育の場として、環境を保全していかなければならないと思います。 現在、本市では生物多様性を保全するための「生物多様性地域戦略」の策定に取り組んでいますので、その中で、今後どういった取組をしていくかということを検討していければと思っています。市街地の中心に位置する城山公園で、その先行事例として、生物多様性に繋がる戦略的なものが実施できればと思っています。 鹿児島市の市街地は、戦災でほとんどが焦土化したので、緑地面積は全国平均より下の方にあると思います。これからは、森林を大切に、緑を大切に、それぞれの空間に生物多様性を保全する取組を進めていければと思います。 ご意見は十分参考にさせていただきたいと思っています。	環境局 建設局	(環境局) 公募市民等の参加による「生物多様性を語る会」、学識経験者による「専門家会議」等を開催し、これらの意見を集約しながら、生物多様性地域戦略の策定に取り組んでいるところです。いただいたご意見も参考にさせていただきたいと思っています。 (建設局) 城山公園においては、降雨による斜面崩壊や、外来種の侵入による自然林の減少など、植物を巡る環境に変化が生じていることから、指定文化財の有する普遍的価値を尊重しながら、貴重な緑を次世代へ継承していくため「城山公園自然の森再生事業」に着手しています。 本年度は、文化財指定区域内の植生や園路などの現況調査を実施し、今後は、保全計画の策定、計画に基づく自然植生の復元、園路等の整備を進めてまいりたいと考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00~20:00

場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	NPO法人 メダカの学校 かごしま 男性	<p>⑤ 鹿児島市は環境面において、色々取り組んでいると思うが、実際に私たちが郡山岳町で講座をやろうとすると、少子高齢化の地域なので、何かやりたいと思っても、労力が少ない。林道を整備する50万円というお金もない。</p> <p>森林整備をやろうと、鹿児島市の事業(=市民とつくる協働のまち事業)に申請しても通らないが、みどりの基金にお願いすると通る。環境未来館と協働して勉強の場にしようということで、環境の池の整備を申請しても、市は通らないが県は通る。私たちの活動をご理解いただき、岳の“イモ石”がどんなものか見ていただいて、そこに林道を造るぐらい何とかならないか。</p> <p>岳は郡山の中でも木が少ないところだと思うので、そこに林道を整備していただくだけでも村の誇り、自慢になるものができる。</p> <p>大きなプロジェクトでなくても、あとの管理は地元がやっていくし、そこを知らない人たちが来ると環境学習もできるので、実現してもらえるとありがたい。</p>	<p>⑤ 私共で気が付かない地域特性についてお話しいただきました。なかなか補助事業の審査を通らないというお話もありましたが、採択基準がありますし、多くの応募事業の中から選定するというのもあって、採択されなかったということもあるのではないかと思います。</p> <p>先ほども申し上げましたが、皆さんが取り組むべき事案と、地域に素晴らしいものがある、鹿児島市が本市の魅力として開発する、そういう棲み分けをしてしっかりと取り組んでいければと思いますので、まずは現地を見てみたいと思います。</p> <p>郡山は、先ほどお話のあったように全国に誇れる素晴らしい地域だと思います。中心部は、今、区画整理を行っていますし、今後は体育館を整備するなど、人が交流できるようなまちづくりを進めていきたいと思っています。これらはハード的なものですので、ソフト的なものを生かした地域特性の発信にも取り組んでいければと思います。</p> <p>お話のあったことは、担当部局に伝えたいと思います。</p>	市民局 経済局	<p>(市民局) 市民とつくる協働のまち事業は、市民グループによる公益的なサービスを提供する活動を補助対象としており、森林整備や池の整備は補助対象外としておりますので、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p>(経済局) 林道は、間伐等の造林・保育や木材の搬出等の森林管理を効率的・安定的に行うため整備するもので、森林所有者等からの要望を受け実施しております。</p> <p>新たに開設するには、10ha以上の森林が利用区域として見込まれることや林道予定地の所有者の同意を得て国・県に採択されることが条件となります。</p> <p>このことから、ご提言の趣旨での林道整備は困難であります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00~20:00
場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	NPO法人 森と木の研究所 男性	⑥ 木材は植えて育て、製材して活用し、使用済みになって還ってくる。そういう循環資源である木材をもっと使ってほしい。 木材はエコマテリアルということで、加工エネルギーも非常に小さく、また、地域の木材を使うことは、雇用を生み、産業の活性化にもつながる。市内では、かごしま森林組合の支所が谷山にあり、杉や檜の森を一生懸命育てている。 是非、市の施設にもっと木材を活用してほしい。	⑥ 市の施設を整備する際には、木材を積極的に活用しようということで、小中学校の体育館に木材を使うように指示していますが、まだまだ足りないと思います。 喜入の観光農業公園の施設は、喜入の森の市有林の木材を活用して建てていますので、ひとつのモデルになると思います。 新たな建物はなかなか難しいですが、既存の公共施設が、今、改修の時期に入っていますので、改修をする際には、鉄骨・鉄筋だったものを木材に変えるなどの対応をしていければと思います。	建設局 教育委員会	(建設局) 公共建築物の整備にあたっては、自然素材である木材のよさを生かし、児童クラブをはじめ、低層の建物についてできる限り木造化するよう努めております。 また、学校や庁舎など鉄筋コンクリート造等の建物についても、新築や改修の際に、壁や床などに木材を使用するよう努めており、今後も引き続き使用していきたいと考えています。 (教育委員会) 学校においては、屋内運動場の改築時に大断面集成材を、また、野地板等に木造を使用し、ぬくもりのある空間づくりを心がけているところです。 また、教室等においても、腰壁を板張りとするとともに、教室と廊下を隔てるパーテーションを木製にするなど、内装に木材の使用を心がけているところです。 今後とも、木材の積極的な活用に取り組んでまいりたいと考えています。
7	NPO法人 森と木の研究所 男性	⑦ 木の“腐る”、“燃える”という性質は、欠点であると同時に、非常に良い面でもあり、腐るから自然に還る。プラスチックは腐らないから、処理に困る。 行政は、メンテナンスが大変だという今までの発想を変えて、積極的に木を活用してほしい。鉄は火に弱く、また、木材は燃えて炭化すると熱を伝えないので、鉄骨を守るために木で被覆するという方法もある。 木をたくさん使うということは、新しい木を植えさえすればCO ₂ の固定化が進むし、木を使用している間はCO ₂ の蓄積として評価されるので、そういう意味でも大いに木を活用してほしい。	⑦ 先ほども申し上げましたが、なるべく県産材を使うように指導しています。 市営住宅についても、高層ビルはなかなか難しいと思いますが、旧5町地域については、ほとんどが木造でつくられていますし、木造住宅に入居していただいた方々にも大変好評ですので、木造で出来るものについては、そういう形で進めていければと思います。	建設局	市営住宅を建設する際、合併5町域の地域活性化住宅や市街化調整区域の既存集落活性化住宅では、周辺の自然環境と調和するよう、木造の低層住宅を基本としており、できるだけ地域の木材を使用するよう努めています。 また、鉄筋コンクリートで建築を行う場合でも、住戸内の下地や内装等に木材を使用しています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00～20:00
場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	NPO法人 メダカの学校 かごしま 男性	<p>⑧ 合併後の一体化を図るために、子どもたちの交流を進めるべきだ。 喜入の一倉小学校はメダカの学校の分校になっていて、もう20年近く校区をあげて「メダカとホテルのコンサート」をやっている。このような機会に、市街地の子どもたちと交流させるようなことができないか。</p> <p>あるいは、郡山にある私共のメダカの池やトンボの池などを活用し、子どもたちが交流するようなことを、課外授業でもいいし、正規の授業に組み入れてみていいのではないかと考えている。是非、教育委員会にも働きかけて、そういう機運を盛り上げていただきたい。</p> <p>鹿児島市の合併は、周辺の5町を編入する形で行われ、広報機能は本庁に集約され、メディア等に出る情報量は旧町の時代に比べて劇的に減っていると思う。住民同士の交流から、お互いを知る機会を作ってほしい。</p>	<p>⑧ 吸収合併ではなく対等合併という気持ちで、皆さんが共有できるような地域づくりをしていこうという理念のもとで合併しましたが、おっしゃったように、それぞれの地域には思いがあるかと思えます。合併して8年経ちましたが、それぞれの地域で「ふれあいトーク」をさせていただき中で、そのようなご意見もいただいています。</p> <p>やはり、次代を担う子どもたちに、共通の意識のもとで鹿児島市のまちづくりに参画してもらうためには、交流も必要だと思えますので、お話のあったことは教育委員会にも伝えておきたいと思えますし、また、そういう施設を活用した教育というのも大切だと思えます。施設に命を与えるというのは、ハードの整備から出発しますが、ソフトの取組がしっかりと構築されないとなかなか目的が果たせないと思えます。</p> <p>大変重要なお話をいただきましたので、伝えておきたいと思えます。</p>	市民局 教育委員会	<p>(市民局) 旧5町域の各支所では、19年度からそれぞれの豊かな自然や特産品などの地域資源を活用して、地域の魅力を広く紹介するとともに市民レベルでの地域間交流を促進する「市域内交流事業」や、地域の魅力あるイベントや施設を紹介することにより地域間交流のきっかけをつくる「かごしま再発見地域めぐり事業」を実施しており、今後とも市民の交流の促進に努めてまいります。</p> <p>(教育委員会) 各学校においては、総合的な学習の時間に、地域や学校の実態に応じて、環境や国際理解、福祉・健康などについて、児童・生徒が自ら課題を見つけ、その解決に向けた探求活動に取り組んでいます。</p> <p>一倉小学校区や郡山地区の豊かな自然環境を生かした取組は、地域を知り、地域に学ぶ上で、大変有意義なものであり、ぜひ多くの子どもたちに体験させたい教育効果の高い活動です。</p> <p>このような施設や環境を多くの学校やあいご会で積極的に活用し、子ども同士の交流が促進されるよう、校長会等において紹介してまいりたいと考えています。</p>
9	NPO法人 メダカの学校 かごしま 男性	<p>⑨ 先ほど話のあった北九州市は、環境の先進都市として、規模から見ても全国レベル、世界レベルで今後発展していこうと思う。</p> <p>環境都市である鹿児島市としては、今後、北九州市とも連携・協力しながら、北九州市にはできない、鹿児島市独自の取組をしていってほしい。</p>	<p>⑨ 先週、北九州市長が来られて、鹿児島島の街を散策していただき、鹿児島島の魅力も共有されたと思えます。</p> <p>今回、北九州市と鹿児島市、福岡市、熊本市が、九州新幹線全線開業を通じた縦軸の連携をしっかりと強化し、その波及効果を九州全域に広げていこうという共通認識のもとで、4市交流連携協定を締結しました。</p> <p>おっしゃったように、北九州市は日本でも、また、世界でも有名な環境都市になっていますので、良いところは吸収し、鹿児島市独自の環境都市としての取組は、我々も発信していければと思います。</p> <p>そういった意味では、お話のありました岳地域は、他の都市にも負けない環境の地域ではないかとも思った次第ですので、そういう取組も続けていければと思います。</p>	環境局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年10月24日(水)19:00~20:00
場所:かごしま環境未来館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	株式会社 桂造園 男性	<p>⑩ これまで、行政が主導して環境の取組を進めていただいている。例えば、環境未来館は象徴的なもので、この施設ができて色々と環境に取り組む機会や考える機会が増えた。</p> <p>行政主導の環境に関する取組の中に、環境事業所認定というのがある。以前に比べると数が増えてきているが、中身や内容に歩留りが出てきているように感じるので、量的なものより質的なものに転換していくべきではないか。</p> <p>環境を重視し、一生懸命取り組んでいる企業や団体がたくさんある。(当社も)環境未来館のサテライトとして関わりを持たせていただいているが、もっと役に立ちたいという企業はたくさんあると思う。例えば、公募型にしてもらえると、電気や建物のメンテナンス、設備などで、一工夫すれば環境を変えられるという取組をされているところがあるので、コスト面で判断するのではなく、(環境面で)こういうことができるという企業や団体を評価してもらえるようなシステムを作っていただき、環境未来館でも役立てていただいて、意識を持って取り組む企業や団体を増やしてほしい。</p>	<p>⑩ 環境に積極的に取り組んでいる企業は、年々増えてきています。</p> <p>そういった意味では、公共事業等を発注する際に、環境にどれだけ取り組んでいるかということも、重要な視点として私共も検討していますので、できるだけ分野を限らず、お話のあったように、色々な角度から、また、色々な方面からそういうことに参画できるような仕組みを作って、もっともっと増やしていければ鹿児島県の環境も良くなりますし、また、多くの企業にそういう意識を持って取り組んでいただけたと思います。</p> <p>環境未来館の職員も、話を聞いていますので色々に対応していければと思います。</p>	環境局	市長回答のとおり